

羅臼町議会だより

しれとこ



知円別青年会による昆布の調査（昭和31年）

平成21年

第**122**号

4月25日

第1回定例議会・臨時議会 2・3

一般質問 4～7

平成21年 第1回定例議会

3月9日～12日、第1回定例議会が開かれた。
議員の一般質問後、一般及び特別会計の補正予算、条例改正や意見書など
すべて原案通り可決した。

～補正予算 1億7,206万円を追加～

町長 行政報告

- 高齢者叙勲受章について
- 拿捕漁船の返還について

- 「管内4町の自治を考える会」について
- 漁獲高について

一般会計

□ 補正予算（抜粋）

歳入	○ 分担金	△1,409万円	○ 寄付金	157万円
	○ 国庫負担金	△607万円	○ 繰越金	△1,292万円
	○ 国庫補助金	2億1,215万円	○ 雑入	△233万円
	○ 道負担金	△215万円		
	○ 道補助金	△370万円		
	○ 道委託金	△112万円		
	○ 財産売払収入	73万円		
	計 1億7,206万円 増			
	総額 41億6,419万円			

歳出

総務費

○ 消防事務組合負担金	△352万円
○ 積立金	161万円
○ 町有バスに要する経費	92万円
○ 地域活性化・生活対策臨時交付金に要する経費	
・ 災害備蓄用品整備事業	228万円
・ 国保診療所建設実施設計委託料	2,458万円
・ 町道等補修工事	1,800万円
・ 町営住宅等補修工事	1,300万円
・ 防災避難施設整備工事	1,977万円
・ 羅臼消防庁舎整備工事	1,008万円
・ 防犯灯整備工事	697万円
・ 葬祭場改修工事	606万円
○ 定額給付金事業に要する経費	1億1,177万円
○ 滞納整理に要する経費	△28万円
○ 統計調査に要する経費	△112万円

民生費

○ 老人ホーム入所に要する経費	△277万円
○ 障害者自立支援事業経費	△761万円
○ 重度心身障害者医療助成経費	△300万円
○ 特別会計繰出金	△405万円
○ 児童手当支給経費	△267万円
○ 子育て応援特別手当支給経費	415万円

衛生費

○ 特別会計繰出金	3,456万円
○ 乳幼児医療費助成事業経費	△100万円
○ 合併処理浄化槽普及事業費	△261万円
○ し尿処理経費	△98万円
○ 廃棄物処理広域連合負担金	△668万円

農林水産業費

○ 畜産担い手育成総合整備事業経費	△1,690万円
○ 中小企業振興資金融資利息補給金及び保障料補助金	241万円

公債費

○ 町債元利償還金	△200万円
-----------	--------

職員費

○ 給与費	△2,890万円
-------	----------

国民健康保険会計 2,139万円増 総額 12億1,319万円

歳入

○保険税	1,014万円
○国庫負担金	618万円
○国庫補助金	138万円
○道補助金	123万円
○共同事業交付金	203万円
○他会計繰入金	40万円

歳出

○その他一般事務経費	11万円
○滞納整理機構負担金	28万円
○一般被保険者療養給付費	1,090万円
○一般被保険者高額療養費	730万円
○保険財政共同安定化事業拠出金	203万円
○償還金及び還付加算金	36万円
○職員給与費	40万円

介護保険会計 △2,210万円減 総額 3億1,127万円

歳入

○介護保険料	△432万円
○国庫負担金	△365万円
○国庫補助金	189万円
○支払基金交付金	△705万円
○道負担金	△374万円
○他会計繰入金	△522万円

歳出

○介護保険業務経費	337万円
○保険給付費	△2,275万円
○職員給与費	△273万円

後期高齢者医療会計 89万円増 総額 5,000万円

歳入

○後期高齢者保険料	△127万円
○国庫補助金	139万円
○他会計繰入金	77万円

歳出

○後期高齢者医療保険業務経費	89万円
----------------	------

国民健康保険診療所会計 2,791万円減 総額 2億9,601万円

歳入

○外来収入	△6,127万円
○道補助金	△120万円
○他会計繰入金	3,456万円

歳出

○医療材料費	△100万円
○医療業務経費	△167万円
○職員給与費	△2,523万円

条例改正

- 羅臼町介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定
- 羅臼町介護保険条例の一部改正
- 公の施設に係る指定管理者の指定
- 職員の育児休業等に関する条例の一部改正
- 羅臼町老人福祉センター等設置条例の一部改正
- 羅臼町乳幼児等医療費助成に関する条例の一部改正
- 重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部改正

超緊縮型予算を可決!!

平成21年度 一般会計予算は、34億1,833万円

会計区分	平成21年度	平成20年度	比較増減	伸率
一般会計(A)	34億1,833万円	39億2,842万円	△5億1,009万円	△13%
特別会計				
国民健康保険事業特別会計	11億9,257万円	12億7,091万円	△7,833万円	△6.2%
介護保険事業特別会計	2億7,992万円	3億2,130万円	△4,138万円	△12.9%
老人保健事業会計	14万円	5,454万円	△5,440万円	△99.7%
後期高齢者医療事業特別会計	4,974万円	4,911万円	63万円	1.3%
国民健康保険診療所事業特別会計	3億1,172万円	3億2,392万円	△1,220万円	△3.8%
計(B)	18億3,409万円	20億1,978万円	△1億8,569万円	△9.2%
合計(A)+(B)(C)	52億5,242万円	59億4,820万円	△6億9,578万円	△11.7%
水道事業会計(D)	4億2,549万円	4億608万円	1,941万円	4.8%
総計(C)+(D)	56億7,791万円	63億5,428万円	△6億7,637万円	△10.6%

(注) 各項目において端数整理をしているため合計と内訳は一致しないことがあります。

定例議会

質問

4名、7件の質問が提出され、町長・教育長の考えを問いました

去る三月九日から十二日の四日間、平成二十一年第一回定例議会が行われました。一般質問は四名の議員より七件の質問が提出され、町長・教育長の考えを問いました。

国保診療所の改築場所や機能について、現時点で「案」はいくつあるのか

坂本 志郎 議員

地域包括ケアを推進する上で、その中心的役割を担う診療所の改築計画は時間をかけて慎重に検討すべきである。

私は現役場を活用し、一階を診療所、二階以上を高齢者施設（老健）にしてはどうかと提案してきましたが（その場合、役場は現診療所へ、議会は公民館へ）その最大の理由は、老健などの高齢者施設（羅臼町は未設置）は、単独に設置した場合一〇〇床以上なければ

ば経営が成り立たないが、診療所と一体ならば三〇床から四〇床でも運営が可能となるからである。

福祉については、町民生活にとって今、一番重要なのは、医療の安定（信頼）と高齢者対策であると考えるが、「案」は現在いくつあるのか。

町長

三つの「案」がある

診療所の建設場所については、湯ノ沢地区の道有地と、現在地（職員プロジェクトからの提言）、役場庁舎の転用（坂本議員の提案や羅臼地域医療研究会からの提案）の三案ですが、総合的に判断し、現在地での改築が適地であろうと考え

ている。又、診療所の機能については、今後町民の意見反映の場を通しながら、より良いプランづくりをする。

最終決定のプロセスは、議会終了後、役場内で規模や条件等の協議、設計を進めていく。

（改築は平成二十三年度を目途）

高齢者や障がい者など万々に備える救急医療情報キット（命のバトン）の普及取り組みを

坂本 志郎 議員

救急医療情報キットとは（夕張市で命のバトンとし



て普及を行っている）高齢者などの安全・安心を確保することを目的に、個人の医療情報（かかりつけ医薬剤情報・持病・連絡先など）を専用容器に入れ自宅に保管（冷蔵庫）し、万一の救急時に備えるものですが、救急を受け入れる医師も、救急隊員による円滑な搬送にも効果的です。高齢者福祉の観点からも必要と考えますが、当町も取り組んではどうか。

町長

命のバトン（救急医療情報キット）については承知しており、当町として取り組みを行なう



平成21年3月

一

般

高齢者福祉を推進するための課題は何か

坂本 志郎 議員

羅臼町の総合計画によると、町づくりの重点施策として、地域医療の推進で、

「老朽化した診療所の早急な整備が必要な状況となっているので、保健予防活動や、高齢者福祉施設と有機的に連携できる新施設を建設する」とされているが、高齢者施設とは何か、又、高齢者福祉を推進するための課題は何か。

町長

介護予防対策と地域で支え合う体制づくりが重要

高齢者福祉施設には特別養護老人ホームや、老人保健施設（老健）、グループホームやデイサービスセン



ターなどがありますが、高齢の方が、いつまでもお元気で、安心して過ごしていくためには、要介護状態にならないような介護予防対策とともに、入院や施設などから退院した後の在宅生活を関係機関や地域が協力して支えていく体制づくりが必要と考えている。

坂本議員による
その他の質問

- 定額給付金の給付方法、商工振興活用対策は
- 緊急雇用創出事業計画について

統廃合推進と今後の問題点は

鹿又 政義 議員

小中学校適正配置計画のもと、統廃合が進められている。統合するとき校舎等の老朽化・耐震化は、子供達の安全・安心、寒さ対策を考えると一番に解決しなければならぬ問題です。

現在、中学校新設統合計画が有ると聞くと、羅臼・春松中学校とも、昭和五十六年以前に建てられていて耐震診断早期実施が必要と言われている。今後、統合に向けた住民との話し合い、協議の進め方は、また、改築年度、建設予定地を示して下さい。（その他数点お聞きします）

教育長

統合目標は、平成二十七年に町内中学校一校に統合

来年度、協議検討する組織設置 建設場所今後について

計画全般については、平成二十二年度を用途として教育局、北海道、文部科学省と協議し、中学校統合に向けた住民との協議や建設に向け、住民の意見反映が出来る体制を構築します。

羅臼・春松中学校校舎、老朽化や耐震化対策は（鹿又議員）

教育長

町長部局と協議し、新校舎の早期実現が図られるよう努力する。

老朽化が進んでおり、一日も早く改善したいが現在の財政状況では、困難な状況です。さらに、現校舎の老朽度合などを考えると補強しても費用対効果に疑問が残る。大規模な地震等が発生した場合不安はありますが、新校舎早期実現に向け努力します。

般

質

問

町長
有事の際は、教職員ともども、対応に万全を尽くすことを、お願いする。

統廃合後は、通学等で不安や経済的負担が増えると考えられ、全体的な見直し検討が必要と思うが（鹿又議員）

教育長

安全対策は万全に、通学負担は町民合意で定着

経済負担軽減のため、統合時にいた生徒には、卒業までの期間、全額補助する。義務教育期間無料にとの声もあるが、今の運行体制導入経緯を尊重する。

町長、通学費無料にする考えはないか

（鹿又議員）

町長

義務教育といえども、受益者負担でお願いしたい。

統廃合後、未利用施設の活用、又、売り払いついて（鹿又議員）

教育長

仮称「検討協議会」を組織

地域の皆様と、地域要望が反映できるよう協議していききたい。

診療所建設の前に医療体制の充実に最優先すべきと思うが

高島 讓二 議員

町長の行政執行方針が発表されました。その中で、まちづくりの目標の一番目に、いのちを守る「医療と福祉」の充実をめざすとあります。その内容は、昨年、十一月の広報で発表された医療再生プロジェクト作成の医療ビジョンを尊重し、町民が安心して過ごしてゆくためにも診療所を拠点とした地域包括ケアを推進する。また後段では行政課題として診療所の運営、診療所の建設計画を述べております。

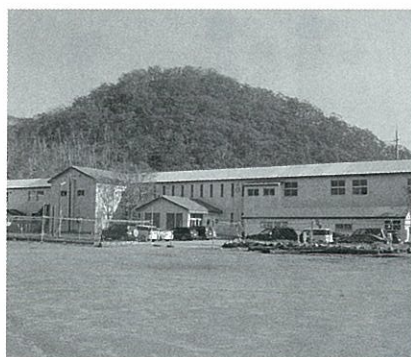
私は町民が本町に安心して過ごすためには診療所の医療体制の充実（時間外救急、入院受け入れ）が最優先されるべきであると議員になって以来、常に述べて参りました。

診療所建設よりも今は医

療体制の充実こそが町民の一番のニーズであり、他町に頼るのではなく先ず本町で体制を為すべきであると考えます。本町に安心して住むための基盤である診療所運営について三つ伺います。

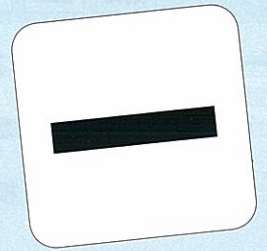
一点目「医師と行政側の関係について」安定した常勤医師の充足が重要であります。現町長は三月末で退職するとの発表がありました。一年間のうちに三人も医師が退職するのは異常な事態であり、行政側との関係に問題があったのではないかと疑義を抱くが医師と行政側は円満且つ、円滑なコミュニケーションは図られていたのかお聞きする。

二点目「診療所の財政について」赤字にならないために一般会計から一億三千万円の繰入金を計上したが、足りずに三千五百万円を追加し一億六千五百万円の繰入金が必要となり、病院時代の赤字幅と変わらない。事務処理を電子化による人員削減やレポート請求を委託せずに事務正職員で行うなど委託料全般の見直し又、医薬材料費等、支出削減の





平成21年3月 定例議会



ために一層の努力が必要であると思いますが、如何お考えか。

三点目「診療所建設について」平成二十年度補正予算にて診療所建設の基本設計、地質調査の費用として二千四百六十万円が計上された。

診療所建設の前に、医療体制の充実が最優先されるべきで、その体制は今、全く充足されていない。

現時点での早計な建築設計、地質調査をすべきではなく町民の望む医療体制を整ってからにすべきであると考え。そのうえで建設するにあたっては町民の意見、提案を聞くべきであり町民参画はどの時点で行う予定か、お聞きする。

町長

医師退職について はあくまでも自己 都合

「医師退職原因については、町を目指す医療と医師のやりがい」「専門外診療のストレスの蓄積」「院内のチーム医療に於けるスト

ス」「患者の受診マナー」などの複合的な理由が考えられる。行政側と医師とのコミュニケーションは図れていたと思う。

二点目の診療所の財政については、経営の効率性を高める事は当然であり削減努力をしているが、職員の適正配置の中で考えて参ります。

三点目の「診療所建設について」は現段階で規模や建設工事がまだ固まっていない。今後の進め方と契約方法は「企画提案型のプロポーザル方式」の方向で検討を進めている。場所については、総合的に判断し、現在地が適地と考えている。町民参画は、ある程度基本的な方向を示したうえで町民の意見を弾力的に取り入れたい。

医師の確保はどう なっているのか

山下 崧 議員

町民に信頼される医療体制を通じ、安心安全な生活

をする上で、現状の医療体制は崩壊寸前である。医療は「町づくりの為にある」ものであり地域の安全保障の為のものである。医師の確保は急務であり、環境整備をし、住民の生命の安全安心を確保すべきものである。現在医師確保の見通しはあるのか、又、危機を打破する為、将来に向け健全で持続可能な医療をどう目指しているのか。

町長

常勤医に向けて努力 力してゆく

昨年十一月医療再生プロジェクトを設置し現在はその途上にある。地域医療も町づくりの視点で取り組んでいるが、将来は公設民営化も視野に入れながら考えているが具体的になっていない。又、医師の確保も現在はなされていないが、出張医師で継続しながら、常勤医の確保に向けて努力してゆく。

一般質問と答弁は 要約されています

議会だよりでは、質問、答弁の内容を要約して載せています。質問、答弁の全文については、詳しくお知りになりたい方は、町役場総務企画財政課までお問い合わせ下さい。

意見書

●市町村立病院・診療所の経営安定化と療養病床の維持存続

●中山間地域等直接支払い交付金制度の継続

●北海道の自衛隊体制維持

議会の動き

2月

- 6日 総務民生常任委員会
- 7日 北方領土の日根室内住民大会
(根室市) 議長
- 18日 管内4町の自治を考える会
(中標津町) 議長
- 27日 議会運営委員会

3月

- 1日 羅臼高等学校卒業式 議長
- 3日 経済文教常任委員会
- 4日 総務民生常任委員会
- 5日 衛生・消防・廃棄物処理一部事務組合議
会 (中標津町)
- 6日 議会運営委員会
- 9日 第1回定例議会 (~12日)

4月

- 8日 北方領土隣接地域振興対策要請活動
(東京都) 議長
- 9日 羅臼高等学校入学式 副議長
- 14日 中標津空港利用促進期成会要請活動
(東京都) 議長

平成二十一年の第一回定例議会が始まり新年度の予算が確定しました。定額給付金事業等が始まり、これから景気対策事業が施行されます。しかしながら現況としては、大変厳しい状況です。私たち議会も全力を注いでいく所存です。

(田中)

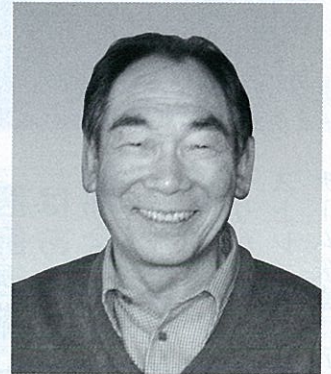


叙勲おめでとうございます

きょくじつ そうこうしょう
~旭日双光章 受章~



村山 栄一 氏



湊屋 清 氏

この度、羅臼町議会の大先輩であります湊屋清氏と村山栄一氏のお二人は、町の基幹産業である漁業の発展や観光振興、教育環境の整備、社会福祉の充実などにご尽力された功績が認められ旭日双光章を受章されました。

この事はご本人の栄誉はもとより本町にとりましても我々議会にとりましても誠に名誉な事であり、心より御祝い申し上げます。



議会事務局長が かわりました

四月一日の人事異動により、工藤茂樹事務局長にかわり、前総務企画財政課長の久保田誠氏が議会事務局長として着任いたしました。久保田氏は、教育委員会を皮切りに、企画、財政、総務課を経て、この度、議会への配置となったものです。松田伸哉事務局次長は留任となりました。今後ともよろしくお願いいたします。